

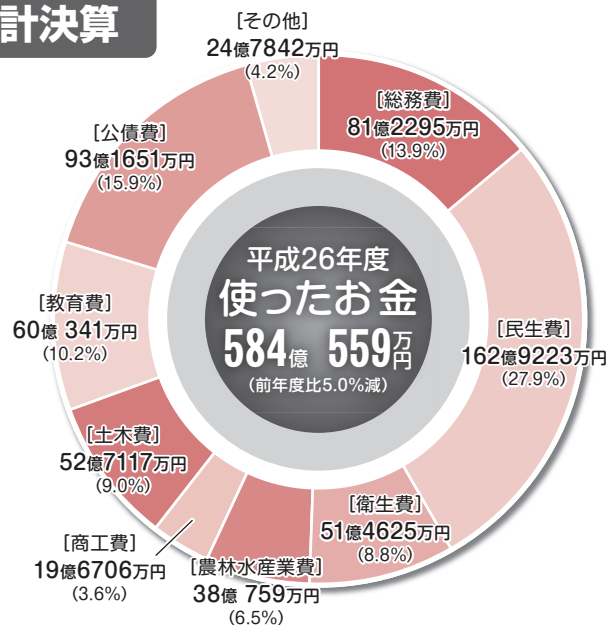
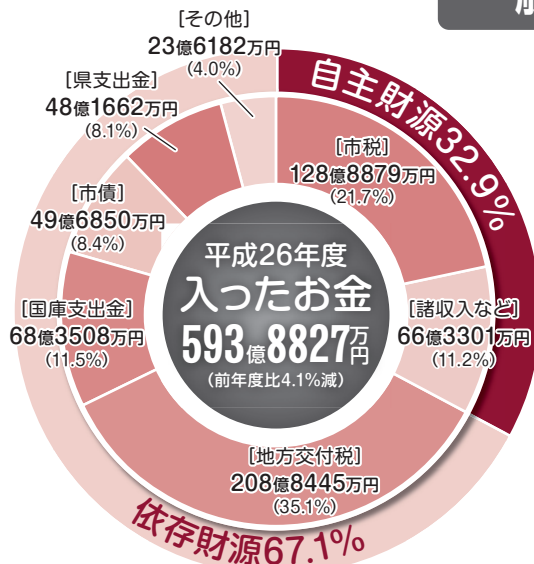
平成26年度決算

総額 904億4189万円を

一般会計 584億559万円 特別会計

実質収支額は4億7218万円の黒字

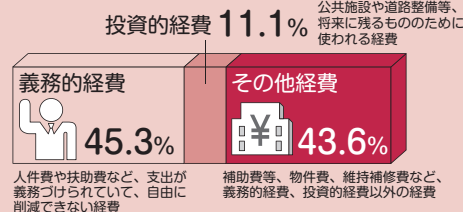
一般会計決算



入ったお金（歳入）

市税や諸収入等の自主財源が占める割合は32.9%で、前年度に比べて3.6ポイント上回りました。市税は、個人市民税が個人所得の減少により微減ですが、法人市民税は製造業等一部大手企業の増益により増加となりました。固定資産税は、新増築家屋の増加等による微増で回復基調にあります。

使ったお金を性質別に見ると…



使ったお金（歳出）

支出が義務づけられている義務的経費（扶助費、公債費、人件費）の占める割合は45.3%で、前年度に比べて3.3ポイント増加しました。人件費は減少しているものの、扶助費が増加していること、三セク債の繰上償還による公債費が増えたことによるものです。

賛成 合併特例措置終了を目前にし、三セク債の繰上償還や財政調整基金の積み増し等、将来を見据えての諸準備や各種事業が進められてきた。主な財政指標も改善し、健全な財政運営に向けた成果が着実に現れている。

賛成 市税の収納率向上による歳入の確保や職員人件費の削減等、市の財政力に見合った歳出努力により、実質収支額は黒字となり適切に財政運営に取り組んでいる。

反対 行財政改革による歳出削減、財政調整基金の積み増しに力を入れている。急がない大型事業の先送りや誘致企業への工業用水補給金の見直し等、市民生活向上や教育施設修繕への振り向けを主張してきたが改められない。

反対 胆沢中学校土地取得問題は、事務的の不手際があったと言わざるを得ない。税金の不明瞭な使途は許されず、行革の最中で莫大な税金が使われたことに納得できない。

反対 支所職員を減らさないで欲しいとの地域の声がある中で、ダウンサイジングを進めようと計画をしている。

一般会計決算認定に対する討論